

授業科目		教育課程ナンバー	時間割コード	開講期	単位数(時間数)	必修・選択
健康回復生活支援概論		BNNSS2L33	30801	1後	1(30)	必修
担当教員	田口 豊恵	実務歴	有	看護師として病院に13年勤務		
担当教員	中島 優子	実務歴	有	看護師として病院に11年勤務		
担当教員	井上 深幸	実務歴	有	看護師として病院/診療所に16年勤務		
概要	ライフサイクルにおける成人期の位置づけや成人期にある対象の特徴や健康障害について学ぶ。また、健康レベルに応じた看護の特徴を理解する。さらに、リハビリテーション看護に必要な概念、基礎的知識を修得する。					
学修目標	1)成人期の特徴や役割を説明できる。 2)成人期の健康障害の特徴を説明できる。 3)健康レベルに応じた看護の特徴を説明できる。 4)リハビリテーション看護およびその対象について説明できる。 5)リハビリテーション看護に必要な概念について説明できる。 6)ヘルスプロモーションを促進するための活動について説明できる。					
DPとの対応	智をいつくしむ力		人をいつくしむ力		命をいつくしむ力	
	科学的論理的思考力	◎	全人的人間理解	◎	職業倫理と人権擁護	◎
	探求力と生涯学習能力	○	ケアリングとコミュニケーション	○	適切な看護実践	○
回	学修内容			予習・復習内容		
1	オリエンテーション、成人と生活			①P4～39 講義前後に読んでおくこと		
2	生活と健康			①P42～83 講義前後に読んでおくこと		
3	成人への看護アプローチの基本			①P90～146 講義前後に読んでおくこと		
4	ヘルスプロモーションと看護			①P152～165 講義前後に読んでおくこと		
5	ヘルスプロモーションを促進する看護の場と活動			①P152～165 講義前後に読んでおくこと		
6	ヘルシーキャンパス①			前の時間に指示する		
7	ヘルシーキャンパス②			前の時間に指示する		
8	ヘルシーキャンパス③			前の時間に指示する		
9	健康をおびやかす要因と看護			①P170～187 講義前後に読んでおくこと		
10	健康生活の急激な破綻から回復を促す看護			①P190～211 講義前後に読んでおくこと		
11	慢性病と共存を支える看護			①P214～230 講義前後に読んでおくこと		
12	リハビリテーション看護とは、チームアプローチ			前の時間に指示する		
13	障害がある人の生活とリハビリテーション			①P234～245 講義前後に読んでおくこと		
14	人生の最期のときを支える看護			①P250～269 講義前後に読んでおくこと		
15	まとめ					
使用テキスト	①小松浩子, 他『系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学[1] 成人看護学総論』2018 医学書院 ②落合英美子『新体系 看護学全書 別巻 リハビリテーション看護』2015メヂカルフレンド社					
参考図書	適宜提示する。					
成績評価基準	筆記試験100%					